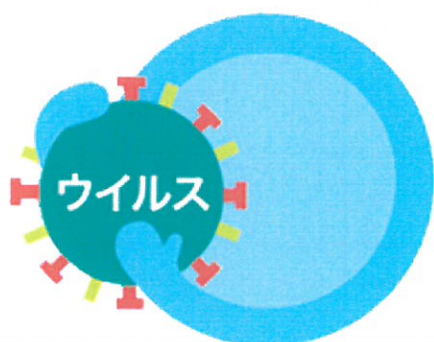


抗ウイルス加工剤”ウィルティカー”

ウィルティカーは、人が接触する生活用品や住宅内装部材に抗ウイルス加工を施すことでウイルスの拡散を防ぐ薬剤です。

ウイルスは単独では増殖できず、人や動物の細胞に侵入して初めて増殖します。1 個のウイルス粒子が人の細胞での増殖により、1 日で 10 の 6 乗個に増殖、それが 10 の 7 乗個にまで増殖すると症状が現れます。このためウイルス粒子をウィルティカーで吸着してしまい、人の体内に移動できないようにすることでリスクを減らすことができるのです。

ウイルスを掴んで離さない！



ウィルティカー

”ウィルティカー”のウイルスをだます仕組み

ウィルティカーの侵入防止機構は次のようなものです。ウイルスはエンベロープ（膜）外側にあるヘマグルチニン（HA）によって宿主細胞表面のウイルス受容体（ノイラミン酸末端）に結合します。そして細胞内に侵入して、核内でウイルスを増殖する。増殖後はノイラミニダーゼ（NA）でノイラミン酸結合を切断して、細胞外に大量放出します。

ウィルティカーはノイラミン酸と類似したイオン基を持つポリマーでウイルスを捕らえ宿主細胞の受容体表面に結合するのを防止します。言うならば、ウイルスがだまされて、ウィルティカーを人の細胞と勘違いしてしまい先に結合してしまうので、侵入が妨げられる仕組みです。

